

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営者は経営理念を明文化し会社のあるべき姿を全社員に示し共有している。社員は自らの使命を理解し、やりがいを感じている。会社の目指す姿の実現に向け困難を克服し挑戦する文化が形成されている。								8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方を社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令等遵守の規定がある。経営者、担当部署は機会をとらえその重要性を社員に示達している。コンプライアンスについても研修、ポスターの掲示を実施するなど啓発に努めている。【予定】三様監査態勢(内部監査、監査役監査、会計監査人監査)の整備・充実を計画している。意見交換会 6月・9月・12月																	16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		全社員に公正な取引の厳守を周知するとともに、不公正な競争行為の禁止を含む行動規範を明文化している。										10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当責任者を任命し、企業活動が社会環境に及ぼす効果・影響を調査している。																		16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		当社は知的財産権の所有は無いが、特許、商標、著作権のある設備等を利用しており、その侵害行為の排除について教育・指導している。								8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		社員情報のほか顧客会員カードに関する情報を有しておりその情報漏洩防止を徹底している。コンピューター暗証番号による権限管理を行っている。																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客とのコミュニケーションは店頭での社員対応により、取引業者とのコミュニケーションは来訪時、商品説明会等の機会を捉え都度意見交換し、お互いの意思の疎通を図っている。																	16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●									5		8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9	11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		事業継続については県に特例承継計画を提出、事業承継税制の活用を計画している。後継者人材の育成も計画的になされており現在その移行期にある。								8	9									17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社内規定について雇用、昇進・昇格における人種、性別、年齢、障害等による差別はない。各種ハラスマントの防止の体制整備、運営を実施している。各種ハラスマントの防止、職場環境の改善のため人事部内に相談窓口を設け担当者を配置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		本部、店舗には業務中の事故防止、安全で衛生的な労働環境の整備、維持のため衛生管理者を配置している。		3						8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		厚生労働省のガイドラインに沿った待遇、体制整備を進めている。 【予定】2022年3月31日までに、役職者(班長・副班長・チーフ・課長代理・係長の各役職に占める女性割合を10%以上にする。					5.5			8.5 10.2 10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		人事部、業務改善委員会に残業時間の管理徹底、労働時間短縮のための日常業務の効率化、年次有給休暇の取得奨励等の徹底を指示、推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		研修体制を整備し、社員には社内外研修への受講・参加、自己啓発を奨励し一部費用の負担も行っている。			4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		社内制度として健康診断、人間ドック、インフルエンザ予防接種、乳がん検診の経費補助を行っているほか、健康相談アプリの活用を推進し社員の健康管理に配慮、支援している。また対外的には、ピンクリボン運動を奨励支援、助成している。		3						8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営、昇進・昇格において宗教、性別、年齢、心身障害等の違いによる差別はない。勤務体制も障がい者、高齢者に配慮した配慮をしている。 【予定】制服についてジェンダー対応を意識したデザインを検討している。2022年4月導入予定			4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3											16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		WEB会議システムのほか、チャット、トrello等IT技術を活用した業務管理、情報交換、会議を推進している。また業者商談等も極力コミュニケーションの非対面化を推進している。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		WEB会議のほか、ICT技術(チャットワークや、トrello等)、DXシステムを活用し社内業務の効率化、業務フローの改善を推進している。								8	9.1		11	12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ゴミの分別処理、遊技機器等設備の適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		本部担当部署で電力、ガソリン等自社エネルギーの使用量を把握しその削減に取り組んでいる。デマンドコントロール設置によるピークカット、カーボンオフセット商品 冷暖くんの導入						7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易シートにて自社のCO2排出量を算出し、排出の抑制に努めている。電力使用量の削減の取組として、クールビズ期間の早期実施と延長を行っている。社有車の低燃費・ハイブリッド車への変更を行っている。		2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		会社、社員の生活において、廃プラ等の使用削減に努めている。エコキャップ活動をとおし、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を支援している。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ITの活用によるペーパーレス化、コピー用紙の裏紙使用を推進している。また食堂で排出する廃油、生ごみ等についても環境に配慮した適切な廃棄に努めている。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		(公)くまもと地下水財団(くまもと育水会)会員となり熊本県の地下水保全事業を支援している。また本部、店舗においては節水、汚水等の適切な処理を実施している。		2.4			6.3 6.4 6.6 7.a					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した製品の購入、再生紙利用等を促進している。名刺にLIMEX素材を使用している。【予定】制服の素材も環境に配慮したものを探検しており、2022年4月導入予定						9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		高効率の空調機への交換やLED照明器具の導入等により電力効率の改善、使用量の減少に努めている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6		9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		毎年行われている宮崎県における赤江・木崎浜のボランティア清掃活動(ウミガメ産卵地の環境整備)を支援し、活動にも参加している。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●									9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		店舗営業におけるリスクを洗い出し、対策を検討・実施するなどしてサービスの向上を図っている。更なるサービスの質の向上を図るためにお客様の声を朝礼、終礼で紹介し関係者で共有している。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザインを考慮し、障がい者、高齢者に関係なく誰もが利用しやすい店舗設備を心掛けている。									9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		熊本県産の商品を景品として提供し、地産地消に貢献している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の活動、イベント、ボランティア活動への積極的な参加を人事部の社内制度として支援、推進している。全社的にも業界全体としての対応を含め広範囲な社会貢献活動を意図した取組を支援、実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		過去の経験を活かし、定期的な防災訓練、体制整備を行っている。事業所における防災グッズ、ハザードマップを常備、周知している。				4								11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		社内に災害対策委員会を設置し、過去の熊本地震、人吉水害への対応、災害ボランティア等の経験を重ね緊急事態の発生に備えている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		社内会議等で社員に啓発している。また取引業者に対してもSDGsの普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		採用は地元(出身者)を中心に採用している。また、地元人吉球磨の災害復興支援として地元の画家や高校生がペイントした倉庫を寄贈した。今後も地元の活性化を取り戻すため、復興支援委員会を設置した。					4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。